

たかのす

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

	9月30日現在	(前月比)
総人口	25,401人	(18人増)
男	12,364人	(6人増)
女	13,037人	(12人増)
世帯数	7,055世帯	(1世帯増)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



№. 396

53・11・15

町交通指導隊員(写真左)大町一丁目大山キミさん(31歳)と西住吉町和田テイ子さん(31歳)。今年の七月一日付けで、初の女性隊員として任命された二人。グレーの制服に身を包み、街頭で歩行者の誘導、保育園や幼稚園を回り、紙芝居による交通安全教育など、交通事故防止の第一線で活躍している。

ともに母親だけに、幼児や老人に対するソフトな指導は抜群。初の女性指導隊員は住民に好評だ。



次は あなたです



豊かで住みよい町づくり

降雪期を前に工事は急ピッチ

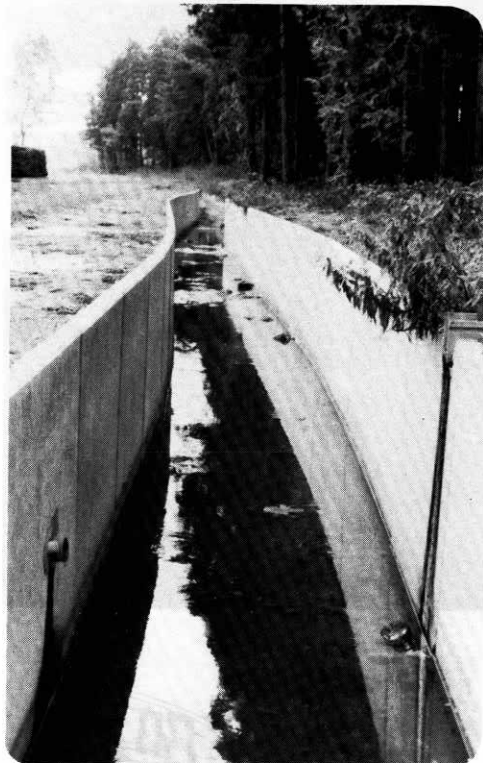
町の五十三年度一般会計予算三十五億六千万円余は、豊かで住みよい町づくり建設のため、投資的経費をふやし、社会資本の充実を図るとともに、きめ細い福祉の展開、産業の推進など長期的展望に立ちながら衆知を結集、綿密、周到な計画のもとに郷土づくりをすすめています。

そこで、今年度も後半に入り、各種工事は降雪期を前に急ピッチですすめておりますので、その一部を紹介します。

舗装工事

予算額1億6千3百70万円の内、既に19路線8,336㎡を1億3千3百36万円で発注、完成しております。

今後の発注は、2路線1,440㎡の予定。



都市下水路工事

都市下水路は、5千6百33万8千円で596㎡が完成しております。



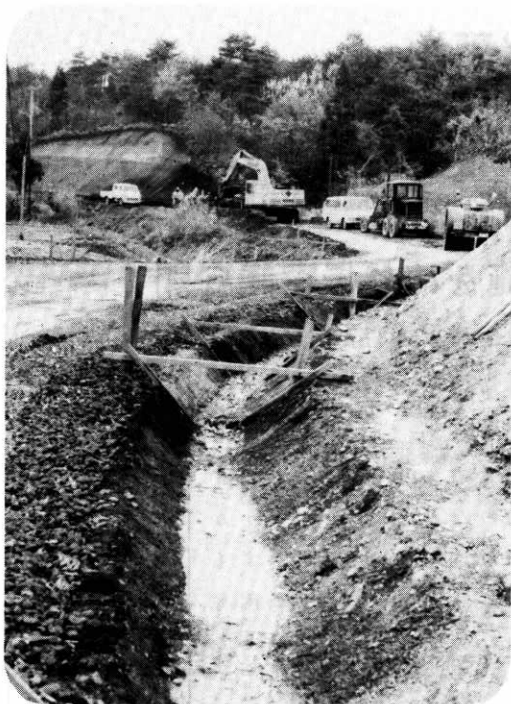
橋梁新設工事

3千万円で4橋を新設することにしてありますが、既に2橋が完成しました。



坊沢簡易水道工事

総事業費1億2千9百8万3千円。地下水一日最大3百26立方メートルを取水、浄水池で塩素滅菌のあと、高台の愛宕山の配水池に送水、ここから自然流下式により一般家庭に給水します。完成は12月15日の予定。



道路改良工事

予算額1億2千87万円の内、10路線3,393延を8千5百85万円で発注しております。

今後は、3路線1,575延を発注の予定です。

また、側溝、道路維持、排水工事に3千9百50万円を計上、それぞれ工事中です。

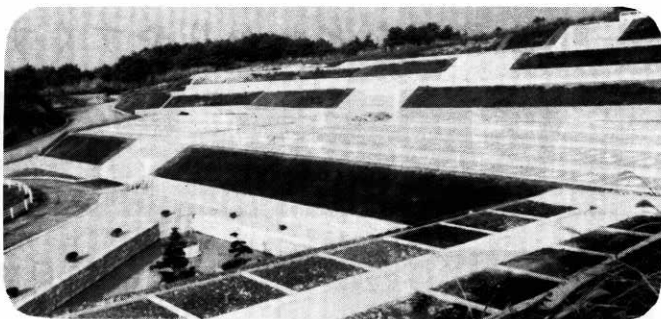


造林と林道網の整備

優良林地の造成と将来の財産づくり推進のため、造林を始め肥培、下刈、林道網の整備を今年度は約1億3千万円ですめています。

林道は、七日市上舟木沢線ほか5路線7,570延を7千6百21万2千円。造林は、栄字中小又沢ほか7カ所66.5haを3千4百99万7千円。

肥培は、綴子湯繰舟沢ほか2カ所81.3ha。下刈は湯繰舟沢ほか10カ所368.6ha。地拵は、栄字中小又沢6haなど、2千48万6千円ですめています。



墓地公園

総事業費9千5百95万円。規制墓地640基、自由墓地300基が完成。

永代使用分譲は、役場保険衛生課衛生係で随時受け付けておりますので、希望者は申し込みください。

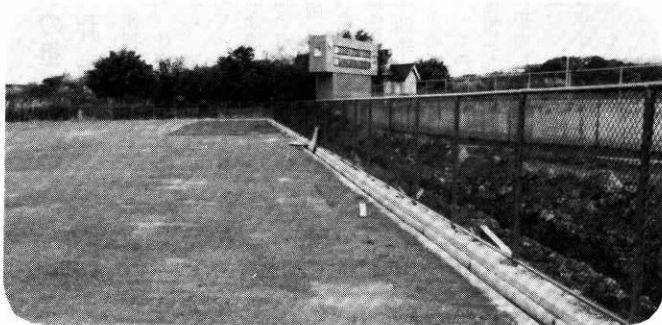
なお、墓地公園には今後、管理棟、休憩所、墓標、焼却場、墓園案内板、植樹などの工事が予定されています。



町営住宅

総事業費1億3千2百60万円で、町営住宅28戸を南鷹巣に建設。内訳は、主体工事に1億1千4百33万円、側溝や舗装などの附帯工事に1千3百32万円、老朽住宅解体費などに4百95万円となっています。

なお、町営住宅は南鷹巣に224戸、高野尻55戸、胡桃館32戸、合計311戸となりました。



テニスコート4面

公園整備事業の一環として、中央公園町民野球場隣接地に、事業費2千万円でテニスコート4面、フェンス、園路を造成中です。

新年度早々から、町民の体力づくりに大いに利用していただきます。

一町名、住居などわかりやすくする一

住居表示、具体的作業に着手



住居表示審議会

＝明年12月実施をめどに審議会開く＝

懸案の「住居表示に関する条例」が、六月定例町議会で決定したことから、町ではその準備作業や審議委員の委嘱など事務をすすめていきましたが、住居表示審議会が去る十一月一日、十日と急ピッチで開かれ、明年十二月からの新しい「住居表示」実施をめどに、具体的作業に入りました。

みなさんのなかにも、家をたずねてなかなかわからず、困った経験をお持ちではないでしょうか？

番地がよくわからないために郵便や電報、荷物の配達が遅れたり、救急車が目的の家に直行できなかつたり、役場や知人から出したいろいろの通知や親書がまちがって配達され、着かなかったり、大変不便な点があるのが現状です。

特に、鷹巣地区は「鷹巣」という名称が三つも重なり、その他通称名や商店街名等が混乱しております。

新しい住居表示は、これまでの番地を用いないで、一定の方法で建物に番号をつけ、それを「住居番号」とするいわゆるハウス・ナンバー制を取り入れ、順序よく整理と並べて解りやすくするものです。

実 域 地 域 は……

住居表示の実施地域は、旧鷹巣地区（南鷹巣地区を含む）を中心に、周辺の一部を加え、先に決定した鷹巣都市計画用途指定地域の三百六十一・六haを一応予定しており、世帯数は約三千七百二十世帯、人口一万二千二百人となっておりますが、現在同地域には四十四の町内会があり、大きいところは百三十世帯、小さいところは二十世帯とまちまちで、このようなコマリ町名を改め、一定の大きさの町を街区方式によって住居表示するものです。

審議会長に沢田氏

十一月一日開かれた審議会では、町長から住居表示の実施時期を五十四年十二月一日としたいことや、住居表示に取り組んだ経緯等が説明されたあと審議会の会長、同職務代理者の互選を行い、会長に沢田一義氏、同職務代理者に三沢修之助氏を選出しました。

住居表示審議会は町長の諮問機関で、町長の諮問に応じ、合理的な住居表示制度の実施について審議し、町長に答申することになった

ており、審議委員は町議会議員三人、関係行政機関職員五人、学識経験者二人、地域住民代表九人、町職員一人の二十人で組織されています。

住居表示審議委員は、次のとおりです。

沢田一義、三沢実、三沢修之助（以上町議） 寺山清利（県北秋田地方部長） 海老沢義夫（郵便局長） 江畑誠一（電報電話局長） 伊藤誠（警察署長） 千葉栄（法務局出張所長） 中島喜代（連合婦人会長） 榎森正（商工会青年部長） 伊藤武志、成田達雄、笹森民治、九島勇吉、村上鉄治、相馬善一、佐藤栄三郎、成田四郎、石川徳治（以上協力委員） 畠山喜代治（助役）

住居表示の担当は建設課計画係

住居表示は、便利で解りやすい町名にするため、住民のご意見や要望をききながら、審議会にはかり仕事をすすめていくこととなりますが、町では今後、協力委員への説明会や実施予定地域への「住居表示お知らせ版」の配付、また必要に応じて町内会への説明会などを計画。実施地域住民のご理解とご協力を得て、五十四年十二月実施をめどに事務をすすめております。

住居表示についての事務は、建設課計画係（電話二二一一・一・内線二六九）で担当しておりますので、この制度についてわからない点や、疑問な点がありましたらご連絡ください。くわしくご説明いたします。

町 長 日 誌

10月16日～10月31日

議 会 日 誌

16日	鷹巣町外六カ町村衛生施設組合議会定例会
17日	町体育協会文部大臣表彰祝賀会
18日	鷹巣阿仁養豚自衛防疫協議会講習会
19日	内外情勢調査会・大館市
20日	液水エンジン燃焼試験場設備披露田代町
23日	町内私立学校祭
24日	町内校長と語る会
25・27日	町工事現場視察
28日	研修視察山口県萩市
30日	茨城県山方町視察来町
31日	湯の岱ほか工事現場視察 鷹巣町子豚品評会 テニスコートほか工事現場視察
16日	北海道留萌市議員視察来町
17日	町体育協会文部大臣表彰祝賀会
25日	決算特別委員会
28日	茨城県山方町議員視察来町

国民年金

国民年金の特例
納付制度の活用を

いま実施されている、国民年金の特例納付制度をご存知ですか、

この制度は、国民年金の保険料を長いこと滞納していたとか、国民年金に加入しなければならぬのに、その手続きをしていなかったなどの理由で、将来、老齢年金を受けることができなくなってしまう人に、今から時効にかかった期間の保険料を納めれば、年金を受ける権利が確保できるようにするものです。

納める保険料の額は、過去の未納期間一カ月につき四千円。取り扱いは、昭和五十三年七月一

日から昭和五十五年六月三十日まで二年間に限られています。

なお、明治四十四年四月一日以前に生まれた人や、サラリーマンの奥さんなど、任意加入の人は特例納付することができません。心あたりの方は、役場町民課年金係へお問い合わせください。

年金映画を貸出中

五十三年度制作、国民年金PR映画「ふたたび陽は昇る」が、このほど社会保険庁から届きました。今話題の無年金者問題をテーマ



勲五等瑞宝章

小畑陸郎氏

電気工事功労で叙勲

政府は、文化の日の十一月三日付けで秋の生存者叙勲を発表しましたが、当町から松葉町小畑電気商会社長小畑陸郎氏(77)が、電気専門工事功労で勲五等瑞宝章を授与、九日建設省で建設大臣から伝達されました。小畑さんは、昭和十三年に電

気工事人の免許をとって以来、四十年にわたって電気工事一筋につとめ、この間、無電灯部落の解消に努力するとともに、北鹿地区電気工事業者組合長、県電気工事組合理事として、業界の育成発展に尽力した功績が認められたものです。



にしたものですが、あらずじは「嫁が養父母との不和から、子どもを連れて離別した。さまざまな辛苦の生活を経て、やがては婚家との平和回復がみられる。嫁は、養父母から国民年金の特例納付の保険料をプレゼントされ、自分の老後設計に光明を見いだす」というような内容のものです。

この映画は、向う二年間の特例納付実施期間中利用できるよう編集されており、研修会、会議等に広くご活用ください。申し込みは、役場町民課年金係まで。

人権困りごと

相談所開設

人権擁護活動の一環として行われている人権困りごと相談所が、▽12月1日「坊沢公民館」▽11日「鷹巣公民館」で開設されます。

相談は無料、むずかしい手続きも必要ありませんので、お気軽においでください。もちろん秘密は守られます。

告知板

入学資金が借りられる
「進学積立郵便貯金」

(進学積立郵便貯金)

▼積立期間：一年から三年までの期間を自由に選ぶことができます。毎月の積み立てとなっています。ただし、昭和五十四年春に入学する場合、六カ月以上の積み立てで融資が受けられます。

▼積立額：月々の積立額は一万円から四万円までの七種類で、資金計画に合わせて選べます。

▼積立限度額：最高五十四万円まで積み立てられます。

▼利率：積立期間・一年以上は年二・六％、二年一カ月以上は年二・八％となります。

▼貸付額：「進学積立郵便貯金」の積立額と同額まで借りられます。

▼貸付対象：入学納付金、授業料など、入学に際し、学校に納付する費用のほか、受験料や、受験の際の交通費・宿泊費やその他入学に必要な教科書代などです。

▼貸付利率：貸し付け時の国民金融公庫の基準金利と同率です(昭和五十三年七月現在年七・一％)。

▼貸付申込期間：積み立て期間満了後二年間です。

▼返済期間：入学する学校の修業年限以内で最高四年。

▼返済方法：元利均等払いまたはボーナス併用の元利均等払いと二種類あります。

その内容は次の通りです。

その内容は次の通りです。

"参加し創造する文化"へ

第10回 町文化祭



錦秋にかなでる夢の調べ



すばらしいハーモニーを聴かせてくれた
混声合唱団



日頃の練習の成果を披露する生花展

“主体性のある文化の創造をめざして”をテーマに、第十回文化祭が十一月三日から五日まで、役場、鷹巣公民館、鷹巣小学校、児童公園の四会場で盛大に行われました。
「みる文化」から「参加し創造する文化」へと志向しながら、回を重ねることに出品点数や参加団体も多くなり、第十回目にふさわしい充実した内容の文化祭でした。
また、会期中は、各会場とも多くの人が訪れ、熱心に展示や演技をみて回り、力作ぞろいの展示、演技に感嘆の声がかれました。
好評のうちに終った文化祭の一部をカメラグラフでどうぞ……。



書道展

"みる文化"から

育てよう郷土の遺産



次代を担う 子ども奴（綴子上町）



駒おどり（前山）



太田番楽



黒沢番楽



観衆の爆笑をさそった雑魚釣り無い（前山）



奴おどり（中屋敷）

日中友好秋田県農業青年の翼 訪中二週間の報告 ③

大寨農業を見聞して

堂ヶ岱 小塚 京 八 (34)

日中平和友好条約が締結されて間もない時期に十五日間中国を訪問し、どこへ行っても熱烈歓迎を受け、条約締結の意義と、感激をこの目で見、肌で感じて来ました。訪問地は、北京、大寨、南京、上海で、主な内容は、市内参観、人民公社、農業試験場、病院、水利関係施設、学校（幼稚園より大学まで）、農業展覧館、工業展覧館等でした。教育関係では考えさ

せられることが多く、ある中学校で学校経営の工場を持ち、一学期一週間交代で全校生徒がその工場を実習をやって労働の重要性、尊さを身に付けている点、日本では考えられません。水利施設関係では、農業の命は水利であるということでした。行く先々で、「農業を国の基礎として工業を導き手とする」のことは、我々農業人にとっては何んと



大寨での小塚さん

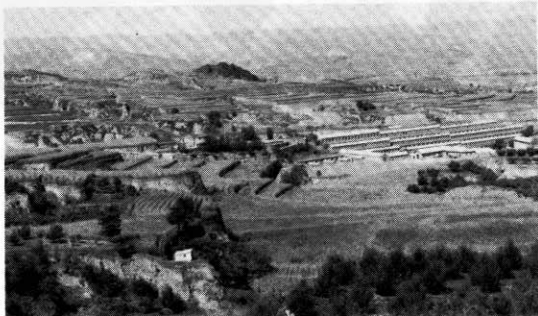
もうらやましいかぎりでありました。各地区を訪問した中で何んと云っても見事なのは大寨でした。全国民の合いことばとされている「農業は大寨に学ぶ」の村で、ここは自然条件は全くひどく、標高千メートル余りの所です。右も左も山また山で、七つの谷、八つの峰をもつ石ころだらけのやせ荒れはてた土地で、雨が降れば土、作物が流され、降らなければ干害というくり返しであったというこの地を、農民自身の手によって山を切り崩し、谷を埋め、石垣を築き段々畑を造り立派な耕地にしています。千ばつの防止には、山頂までポンプアップで水を送り、貯水池を造り、その対策を構えています。農業の命は水利にあるということばの通り至る所に完備されていました。耕地には青々と作物（トウモロコシ、アワ、小麦）が茂り、その収穫量も年々増収とのことでした。

人民公社の収益も高まり社員的生活、福祉も年々向上して、解放前までは山腹に穴を掘って洞窟に住んでいたのですが、今は立派な石造り、レンガ造りの家に住んでいます。これも皆、自分達で造ったものだということでした。

さらに農業ばかりでなく、工業もやれるということで小型の工場があり、正に自力更生、刻苦奮闘です。偉大な計画、努力、この姿を国民が見て後に続こうというのでしよう。見学者も多数来ていました。

中国はどここの人民公社に行つて

山を切り崩し、谷を埋め立てて築きあげた大寨の耕地



も、「農業は大寨に学ぶ」のスローガンをかかげて、活気に満ちあふれ八億五千万国民の食糧自給のため一生懸命、全国民が一致団結して増産に精を出している姿をこの目で見て、農民魂、農業の原点を見たような気がして強く心に残りました。農産物の作付、生産計画も前年度に各人民公社より出され、それを検討し決定されるところで我が国のように農産物の自給率が年々低下してきている昨今、国民の命預かる農業こそ国の基本とする考えを今一度考え、国民世論を図り長期的な政策が必要ではないだろうかと思えます。

中国農業は、農業技術、機械化は日本より遅れています。農業への認識、意気込みなど学ぶ点は数多くありました。



新刊図書案内

- ▽天才の精神分析……………福島 章
- ▽左と右の心理学……………M・C・コーパリス
- ▽梓のない世界……………金光寿郎
- ▽一遍上人……………栗田 勇
- ▽新約聖書入門……………三浦綾子
- ▽八右衛門・兵助・伴助……………深谷克己
- ▽古代東北の人々……………新野直吉
- ▽あめゆきんの歌……………山崎朋子
- ▽八月十五日の空……………秦 郁彦
- ▽鉄の首枷……………遠藤周作
- ▽社会主義の話……………日本共産党中央委員会出版局
- ▽キヤリア・ウーマン……………マーガレット・ヘニツク
- ▽キキ自伝……………A・マオリ・キキ
- ▽秋田の山……………奥村清明
- ▽回想の文士たち……………小田嶽夫
- ▽谷崎文学と肯定の欲望……………河野多恵子
- ▽北杜夫全集……………北 杜夫
- ▽水の都……………庄野潤三
- ▽和宮様御留……………有吉佐和子
- ▽おふくろ……………樋口清之
- ▽良寛・その全貌と原像……………石田吉貞
- ▽アポロンの午餐……………赤江 滂
- ▽新田義貞（上・下）……………新田次郎
- ▽致死海流……………森村誠一

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

県外からの視察相次ぐ

『住宅・宅造・社教など研修』

九月、十月と当町に県外からの研修視察団が相次ぎました。

視察団は、北海道、青森、岩手、山形、新潟、茨城の各県から、町議会議員や社会教育関係者が、事務改善や各種建設事業、稲作転換事業、社会教育などそれぞれのすすめ方や施設見学など、熱心に勉強して帰っています。

当町に視察団が多いのは、他県から県や県町村会に優良町の照会があった場合、当町を推せんするため、視察団は、それぞれ「大へん参考になりました」と、満足して帰町しております。

(前野団地を見学する視察団)



大公望でにぎわう

『町民つり大会に二百人』

町のつり同好会が主催する第六回町民つり大会が、文化の日の十一月三日小猿部川、川口橋下流に二百人の大公望が参加して行われました。

大会は、午前九時から正午までの三時間にわたってつりを競い合いましたが、大会に先立って前夜放流した千匹のニジマスは、水門の開閉で増水、下流にはった網を越えて逃げたのと、残ったニジマスも動きがなく、つりの成果はさっぱり。

それでも、大公望たちは制限時間いっぱいつり糸を垂れ、つりを楽しんでいました。

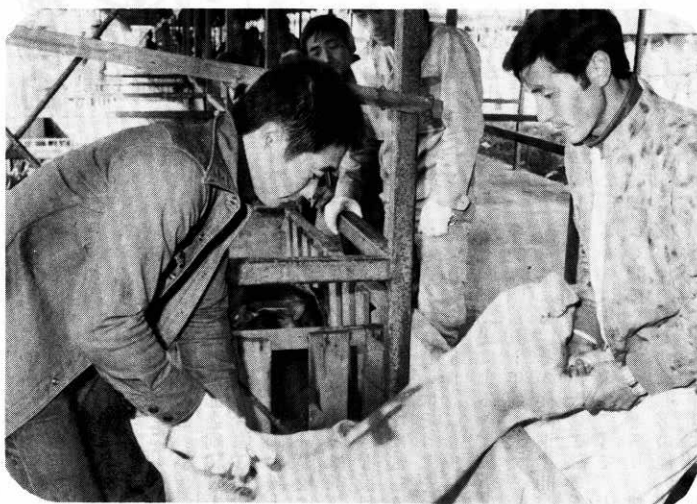
初の子豚品評会開く

『木村・成田さんに最優良賞』

町の養豚生産組合では、十月三十日「第一回子豚品評会」を南鷹巣家畜市場で開きました。

この品評会は、養豚生産者が資質の改良などをお互に研さんしようと開いたもので、会場には丸々と太った今年の七月から八月にかけて生まれた子豚二百五十頭が出陳されました。

審査は、子豚一腹（七頭以上）単位に、発育の状況、団体の資質などを主体に審査した結果、福住町木村家司美さんの十二頭と、七日市成田金右工門さんの十一頭が最優良賞に選ばれました。



農業学習が結ぶ 近隣の和

『坊沢・成人学級』

勉強したいことがたくさんあるが、仕事で忙しくて学習できないのが成人男子である。だが、この層が地域社会を動かしてゆく大きな力であることから、公民館坊沢分館では、いろいろと多彩な学習会を開いて、成果をあげている。

農協、指導部と共催で

農協のサービス機関である農協との共催で農業学習の講座を開い



毎年3月に開催される分館まつり風景

たのが昭和五十年、受講生は毎回四五十名もあった。あれから三年たった現在も二十名はくだらない熱心さである。

「稲作、転作大豆の栽培法」「稲作管理」「地域経済のなかの農業」と、計画を立てて毎月実施してきた。

米の等級があがる

講師には普及所長・農林高校の先生を頼み、苗作り、追肥の仕方、除草剤の使い方、水の実地など稲作りのポイントとなるところの適切な指導を受けている。おかげで坊沢の米の等級があがったという。

転作大豆は今年の重点で、集団耕作の奨励のこともあり、早春の三・四月に集中学習した。

教え合う 野菜づくり

畑作ではバレイショ、白菜、大根など、どこ

般的なものを主にやっている。

ここでは月々の作業のあり方を学習するので、若い嫁さんから老人に至るまで幅広く集まる。失敗談から経験が生んだ成功例が出される令のへだたりを越えた親密さがある。出席できなかった人には、となり近所で教え合うことになっているので、ここでもまた学習の輪が広まってゆく。

畑作では、ニンニク栽培の研究等、特殊グループもあって成果をあげている。

多彩な趣味の学習

農業学習のほかに、庭木、盆栽球根、草花などの「花とみどりの会」「民謡講座」「文章講座」など誰でも入れる学習がある。また婦人主体の「生花」「民舞」などがあって、公民館では毎晩、絶えずまなく勉強がつづけられている。

地域課題の処理は 団体長会議で

坊沢地区は四百八十一世帯、九つの自治組織でよく活動している。しかし、共通課題としてみんなが歩調を揃えて処理しなければいけない問題がかならず出てくる。それを処理するのが公民館で招集する団体長会議である。

町内（部落）会、青年会、婦人会、老人クラブ、その他各団体の代表が集って、当面している地域課題を話し合う。

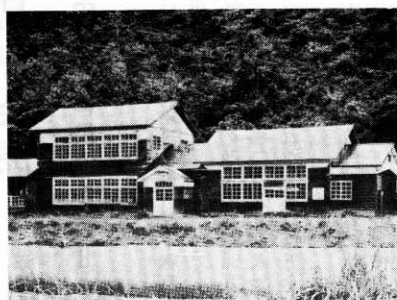
綴子川のクリーンアップ、交通安全対策など、地域総ぐるみの活動でよくなされてきた。青少年の健全育成のことも今話し合われている。

部落訪問



＝黒 沢＝

坊沢の国道七号線から北側の山手に入り、坂道を登って大きな堀り割りの峠を越えたと旧黒沢小学校校舎の前に出る。役場からは約四・六軒の地点である。校舎の右側すぐそばに十一世帯、校舎から下手約一軒離れたところから点在する十五世帯、合わせて二十六世帯が現在の黒沢部落である。数年前まで四十世帯もあったが便利な所に転居する人が出て半分減ってしまった。部落には今、大きなバックホーンとトラック数台が入って道路の改良工事をしていて。雨の多い晩秋の晴間は農家にとつて忙しい。文化の日の午後道ばたの畑で野菜の冬しまつをしていた大川康一さん（役場職員）ご夫婦をつかまえて、いろいろと話を聞いた。



（公民館長 長崎 久）

財としてしばしば紹介される。

黒沢小学校は明治十三年に創立昭和四十六年、西小学校に統合するまでの九十二年間続いた昭和十七年現校舎ができるまでは先生も一人というこの小さい学校であったが、郡会副議長大川忠治、東北の大教育者佐賀徳治校長、相馬準一、貞一両弁護士などの人物が出ていた。廃校になった今でも、この校舎は部落のセンターとしての大きな役目をもっている。どんなに忙しくても人々はきれいにそうじをしよく集まっている。

七座郷土史によると、黒沢は今から四百五十年前、天文の頃から始まる。その後天正年間、津軽浪岡より北畠氏の子孫である今の太川氏が入ってきて、大きく開拓をすすめた。村はずれの不動堂は部落の後沢にあったものを慶長年間に現在地に移したとある。

みんなの広場



な つ は ぜ
コハゼ。山地に普通。
酸っぱい独特な味。口辺
に黒く色がつく。

(南小・阿部達雄先生)

青年会で

自己を磨こう

綴子 高橋 穂 (27)



私は自動車整備工です。仕事の空いたから現在綴子青年会長をつとめ、また公民館綴子分館の青年主事として、活動の手助けをさせていただいております。青年会には、地区駅伝や、いろいろな奉仕活動や、講習会が、一年間多彩に計画されます。

最近の事業としては、鷹巣町役場の保健衛生課の方を講師にお招きして、青年期における男性の生

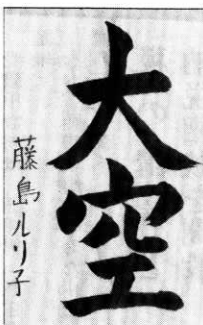
1954年生まれ



四年 辻 美幸



4 年 佐 藤 勲



四年 藤島 ルリ子

綴子小学校



わたしのおじいさん

南小学校3年
島 山 美香子

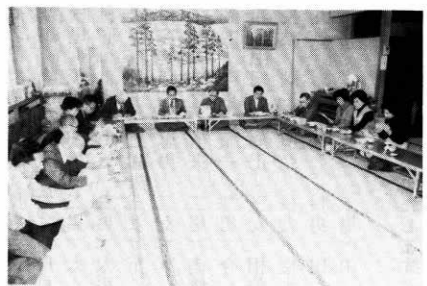
自殺など年々増加の傾向にあります。青少年の問題を含め、私達青年会は、その現実から目をそむけることなく、正しい展望と信念をもつて、悩める青年との語らいの場の鍛練の場を持たなければいけません。そしてそれが一生の土台になるようにしなければいけません。これまでの八年間の会運営で、友を知り、友を得たことは良い思い出となりました。これからも、青年会共々青年の道を開拓して行かなければいけません。それには若者がスクラムを組んで行動を共にし社会の矛盾を打破することです。その時こそ、非行のない明るい地域社会、が生まれるのです。今こそ青年会で自己を磨き、実社会ではばたこうと、呼びかけたのです。

わがサークル

＝鷹巣俳句会＝

わたしのおじいさんは、山へ行ってしごとをしています。帰ってくると、おふろに入りながらせんたくします。おじいさんは、わるいことをすると、ものすごくおこりますが、やさしいおじいさんです。

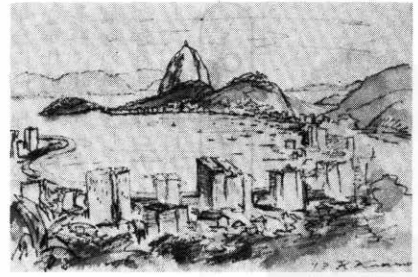
鷹巣俳句会は伝統のある坊沢叢林、鷹巣栖鷹の吟社を併合し、昭和四十七年新加入者を含めて誕生しました。千刈青坡を中心にした月例会、吟行句会、合同句会などが主な活動内容であり、ほかに町文化祭行事の大会を実施。このたび第七回目を盛会に終了することができました。月例会は公民館をお借りしていますが、時には吟行ということで海岸とか寺院、果樹園、公園などで親睦を深めながら楽しく俳句を作っております。合同句会としては合川、森吉、大館などと交流を



図り相互研究に努めております。会員数は現在二十五名ほどで、三対二の割で男性が多く活発です。なお今年になって千刈青坡、藤原喜久子、小笠原幹子が相ついで転出されたことは残念ですが、新しい方がそれぞれ、上達していますので楽しみです。俳句はどなたにでも作れます。四季の移り変わりや旅の思い出、家族の喜びやかなしみを記録してみませんか。俳句を作ってみたいという方がたくさんいると思います。会ではそういう方にトビラを開きお待ちしております。(紹介者 五代儀 幹雄)



おしらせ



一線美術会会員 九島繁二氏

公民館で指圧教室

鷹巣公民館では、十一月十六日から二十日までの五日間、渡辺勝蔵先生による指圧教室を開きます。時間は、午前の部が九時から十一時まで。午後の部が一時から三時まで、それぞれ鷹巣公民館で行いますので多数ご参加ください。受講料は無料です。

十一月の健康相談

成人健康相談は、二十二日です。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、二十日です。時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの際は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、母乳栄養と妊娠中期の注意について。時間は、午前十時から十一時半まで。
※場所は、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

聴覚障害者の巡回相談

耳の不自由な方の巡回相談室を、十一月十六日午前十時から午後三時まで大館市石母田耳鼻科医院(バス停・御成町四丁目)で行います。相談内容は、▽医学的相談及び判定▽補聴器の交付及び修理▽一般更正相談となっております。相談においでの方は、身障者手帳、戦傷者手帳、印鑑を持参してください。

行政書士試験

昭和五十三年度行政書士試験が、十二月五日(火)県庁で行われます。

受験願書の受付は、秋田市山王四丁目一番一号 秋田県総務部地方課へ。十一月二十八日まで必着のこと。

受験に必要な書類は、受験願書、履歴書、受験資格を有することを証明する書面(高等学校卒業証明書、公務員職歴証明書等、戸籍謄本または抄本、身分証明書、写

真(上半身手札型) 受験手数料は、三千円(秋田県証紙) なお、願書の請求やおたずねは総務部地方課へ。

税の講演と納税相談を開説

税の講演と納税相談を十一月二十日午後一時から四時まで、役場三階大会議室で行います。講演は「相続税と贈与税譲渡について」赤塚信雄国税調査官。納税相談は、相続税、贈与税、所得税、住民税、固定資産税、県税などについて相談を受けることになっております。

冬季スポーツ教室

鷹巣体育館では、次のとおり冬季スポーツ教室を開きます。冬はどうしても運動不足になりがちです。運動不足の解消に、オフシーズンのトレーニングに、隣近所、友達をおさそいのうえ、多数参加してください。初心者大歓迎です。ご家族でもどうぞ。教室は、毎週▽卓球▽火曜日▽バレーボール▽水曜日▽バドミントン▽木曜日▽インドアテニス▽金曜日。期間は、十一月二十七日から翌年二月十五日まで行います。時間は、午後六時三十分から八時三十分まで。

参加ご希望の方は、十一月六日から受付いたしますので、鷹巣体育館(電話二一三八〇〇)へ申し

善意

△大町 奈良康一さんから医院新築記念として一〇〇、〇〇〇円
△新田中 畠山康一さんから拾得金の謝礼金一、五〇〇円
△鷹巣教会幼稚園母の会から、バザー収益金一〇、〇〇〇円
それぞれ社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。ご芳志に深く感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。
△芳志に深く感謝いたします。
△大野尻 長崎久一さんから亡長男久光さんの香典返し
二〇、〇〇〇円
△東横町 佐藤永彦さんから亡父永治さんの香典返し
二〇、〇〇〇円
△舟見町 久留島富義さんから亡母マツエさんの香典返し
三〇、〇〇〇円
△太平町 藤原吉吉さんから亡父亀松さんの香典返し
二〇、〇〇〇円

慶弔だより

10月16日〜10月31日

誕生おめでとうございます

津谷 茂浩(庄一郎長男)羽立

神 武利(英隆 長男)東仲通
及川 隆広(文克 長男)新舟見町
松尾 茂樹(安雄 二男)太田
村形 歩(彰 二男)太平町
岩谷真貴子(三知夫三女)下町
岩谷美智子(忠男二女)下町
花下 浩之(信夫二男)南鷹巣
篠内 洋平(順一 二男)今泉
津谷由紀子(静正 三女)相善町
長崎 訓子(道弘 長女)桜木町
九島 平(勉 長男)田中
九島 和(勉 二男)田中

二人の前途を祝福いたします

河田 恭治 新舟見町
坂上 松子 札幌市
永井 照男 掛泥
金沢 千鶴子 あけぼの
根本 吉雄 大堤
安田 美樹子 金沢市
佐藤 恵直 舟場
花井 捷雄 太田
津谷 千世子 坊沢大町
武田 均 坊沢大町
田中 友子 与助信
上小阿仁

おくりやみ申しあげます

佐藤 永治(63歳) 東横町
碓谷 嘉七(70歳) 摩当
三沢 永助(92歳) 北新町
久留島マツエ(57歳) 舟見町
小塚 勝夫(46歳) 堂ヶ谷
三沢 千エ(73歳) 田中
成田いさ子(30歳) 今泉
高橋 与七(82歳) 下町